

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師研修参加者募集

人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識・技術・マネジメント能力を習得し、
栄養ケア・マネジメントの質の向上に貢献できる管理栄養士の養成を目的としています

大学院生へ

臨床栄養師資格は、認定講座100時間、臨床研修900時間という多くの研修を経て授与されます。実際、臨床栄養師はこのような豊富な経験をもとに病院など様々な分野で活躍されています。大学院は臨床栄養師研修に最適です。就職後に臨床栄養師研修を受ける場合に比較して、大学院生は時間的余裕があります。また、大学院生が臨床栄養師研修を受ける場合、認定講座の一部免除が受けられる、認定講座の受講料の優遇処置が受けられる、など数々の特典があります。臨床研修も管理栄養士資格がありますので、より実践的な栄養士業務を担当することが可能です。大学院生は臨床栄養師研修を受ける絶好のチャンスです。

臨床栄養師研修委員長 田中明（日本女子栄養大学大学院教授）

管理栄養士養成施設を卒業した栄養専門職の初任者が、実務につく前に臨床栄養師研修を受ける意義は2つあります。1) 栄養専門職として自立し、どの分野であっても初日から実務に取り組むための最低限の力量を持てること、2) それぞれの実践分野で活躍している指導者（臨床栄養師）を通して自分の将来像を描き、それに向かって努力ができることです。大学院で臨床栄養師研修に参加すると、社会のニーズに合った情報収集・問題解決能力とともに、専門職としての実践能力を兼ね備えることができます。社会から真に求められる栄養専門職になってみませんか。

臨床栄養師研修大学院部会委員長 合田敏尚（静岡県立大学大学院教授）

管理栄養士養成施設関連大学院担当責任者の先生へ

認定講座100時間、臨床研修900時間という豊富な臨床経験を積むことができる臨床栄養師研修は管理栄養士業務を行う上で大きな自信に繋がるものと思われます。実際、臨床栄養師は病院などさまざまな分野で活躍されています。時間的余裕のある大学院生は臨床栄養師研修を受ける最適の機会であると思われます。大学院生には認定講座の一部免除、受講料の優遇など数々の特典もあります。また、今後、各大学大学院カリキュラムと臨床栄養師研修の融合化なども期待できると考えます。

臨床栄養師研修委員長 田中明（日本女子栄養大学大学院教授）

現在のわが国では、栄養ケアのエビデンスを理解し、エビデンスに基づいた栄養ケア・マネジメントを実践できる栄養専門職の必要性が強く望まれています。実践能力の高い栄養専門職を育成するための鍵は、米国登録栄養士の力量を支えている個別指導型インターン研修にあります。臨床栄養師研修は、この実践教育理念をわが国ではじめて導入したという点で画期的です。超高齢社会で「食べること」を支えることのできる栄養専門職のリーダーを大学院で育成する人材育成プロジェクト、それが「臨床栄養師研修」です。是非ともご協力をお願い致します。

臨床栄養師研修大学院部会委員長 合田敏尚（静岡県立大学大学院教授）

研修内容

認定講座100時間 および 臨床研修900時間

日程・ 場所

- ・ 認定講座 平成28年6月7日（火）～12日（日） 神奈川県（予定）
平成28年8月6日（土）～11日（木） 東京都（予定）
- ・ 臨床研修 全国約200の研修施設から希望施設を選択可。日程は施設側との調整で決定

試験内容

認定試験（年1回3月に実施） および 論文試験

- ・ 米国の登録栄養士の教育制度を手本にした唯一の管理栄養士のためのインターン研修制度です
- ・ 臨床栄養師の資格授与とともにNST加算の要件を満たすことができます
- ・ 研修は1年間ごとのプログラムですが、3年間かけて受講可能です
（3年以上の研修期間延長も可能 例：妊娠、出産、養育、介護、療養、業務多忙などの理由可）
- ・ 臨床研修施設は参加者希望と研修施設の意向を踏まえてマッチングを行います
- ・ 認定講座、臨床研修の免除制度があります（詳細はホームページ募集要項参照のこと）
- ・ 実践経験が必要な大学院生、教育・研究者、歓迎です
- ・ 唯一無二の教授陣と第一線で活躍中の臨床栄養師による講義が受けられます
（栄養ケアプロセスによる症例検討、病院・介護保険施設・在宅訪問・給食管理などの研修）

★大学院生として研修を受けた臨床栄養師のことは★

大学4年間は「管理栄養士になる（国家試験合格）」には十分な内容ですが「管理栄養士として仕事ができる」には不十分です。医療現場においては、多職種チームによる活動が増えて、管理栄養士がチームリーダーになる機会も多くあります。臨床栄養師研修で学べることは、まさに「管理栄養士として仕事ができる」ための基礎的な内容であり、NCMはチームの運営にも生かすことができます。（静岡県立大学大学院修了、病院勤務）



大学院生活では、研究能力と情報収集能力の他に、論理的・批判的な思考方法などを身につけ、病院や施設における研修では、管理栄養士の資格を活かして、患者とのコミュニケーション能力や複雑な病態に対する栄養管理の実践能力を身につけることができます。どちらも就職後の病院での臨床栄養やマネジメントの実践に関わる重要な能力です。（静岡県立大学大学院修了、病院勤務）



仕事を始めてから臨床栄養師研修を受けるとなると施設の協力がなくては難しいですが、大学院生は、臨床データの分析方法を大学院で学びながら、臨床研修に取り組むことができるところがメリットでした。（椋山女学園大学大学院修了、病院勤務）



大学院生にとって、在学中に様々な臨床栄養分野の第一線の現場で研修し、実践栄養の専門的技術の質の向上を図り、栄養専門職としての知識と技術、資格を修得できることは大変有意義でした。また、自身の将来に対してのビジョンを明確にすることも可能です。（福岡女子大学大学院修了、管理栄養士養成大学講師）



大学院では臨床栄養学特論や栄養ケア・マネジメント特論など研修内容での疑問を補足するような関連する授業がありました。仕事の制約を受けないので、臨床研修は遠方の施設で連続して受けることもできました。常勤勤務歴はありませんでしたが実務経験者のみを募集する職場でも勤務することができました。その後、本研修が実務経験とみなされ、修士課程修了後に働くことができました（神奈川県立保健福祉大学大学院修了、国立大学医学系研究科助教）



（第15回日本健康・栄養システム学会 シンポジウムより一部抜粋）

★大学院生が臨床栄養師研修を受講することのメリット★

●認定講座の一部免除

- ①第20回(平成17年度)以降の管理栄養士国家試験合格者・・・認定講座16時間免除あり、大学院単位認定あり
- ②臨床栄養師研修担当責任者がいる大学院の学生・・・大学院履修科目において、認定講座の履修時間に相当を申請ができます（申請できる科目については規定参照）
- ③大学院の演習科目「特別インターンシップ」として位置づけ、大学院修了要件としての取得単位の一つとして認定も可
- ④学会、総会に出席すると認定講座8時間が認定されるので、認定講座のコア科目は、10時間の受講で済みます

●受講料の免除

- ①認定講座の受講料は一般110,000円であるが、大学院生36,000円と優遇されています
- ②臨床研修を大学院演習科目受講という位置づけにしている大学は、臨床研修にかかる費用180,000円（200円×900時間）+手数料10,000円は、大学が負担します

●栄養サポートチーム加算

- ①臨床栄養師資格が授与されると、栄養サポートチーム加算（週1回200点）の要件を満たすことができます

●その他

- ①900時間と長時間の臨床研修が必要なため、大学院在学中の方が日程調整しやすいです
- ②就職後では、長期間を費やして研修を受けることや他職種の仕事内容を詳しく知る機会が得られません
- ③管理栄養士の資格取得後に研修を受けるため、学部の臨地校外実習とは異なり、実際の栄養指導業務を担当させてもらうことができます
- ④様々な臨床分野の第一線の現場で臨床研修を受けることができ、特定保健指導やCKD予防、特定高齢者の低栄養予防

申込方法

募集要項をご覧ください、掲載されている書類をお送り下さい。

お問合せ先

神奈川県立保健福祉大学 栄養学科内 日本健康・栄養システム学会
臨床栄養師研修運営担当 杉山みち子、事務 加納亜紀子
TEL/FAX 046-828-2663 mail: ncm.kanou@gmail.com